

# 2014年度 前期

## 学生による授業アンケート結果

教育開発推進・  
高大連携委員会

目次	【概要】
1. 全体の結果	* 2014年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。
2. 科目分野別の結果	* アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。
3. 授業形態別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
4. 受講者数別の結果	* 前期は7月7日～7月28日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。
5. 先生のアンケートから	

### 1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

実施科目数 113科目

質問項目別に見る平均

【表1】

設 問	平均
<b>学生自己評価について</b>	<b>4.12</b>
1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した	4.25
2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど)	3.99
<b>授業について</b>	<b>4.18</b>
3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	4.22
4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	4.20
5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間)	4.34
6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった	4.26
7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った	4.20
8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった	3.94
9.この授業の進め方及び内容は適切であった	4.12
10.課題の内容は学習に役立った	4.12
11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた	4.35
12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.13
13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	4.19
14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む)	4.27
15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった	4.15
16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	4.08
<b>環境について</b>	<b>4.33</b>
17.教室の広さは適切であった	4.35
18.机や椅子の配置は適切であった	4.33
19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった	4.30

## 2 科目分野別の結果

\*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等

### ①実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目:文献講読演習	4	文献講読基礎/文献講読演習Ⅱa/文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅱb
基礎科目:日本語科目	3	日本語表現法Ⅰ/日本語表現法Ⅰ/日本語表現法Ⅰ
基礎科目:英語科目	11	English SeminarⅠ/F10/English CommunicationⅠ/English CommunicationⅠ/Business Communication Skills/English ReadingⅠ/English ReadingⅠ/Public speakingⅠ/Academic WritingⅠ/Grammar/English CommunicationⅠ
基礎科目:情報文献	3	情報処理リテラシー/情報処理リテラシー/情報処理リテラシー
基礎科目:現代教養	8	社会学Ⅰ/福祉文化論/法学/女性学入門/心理学Ⅰ/数学の基礎/人文地理学/経済学
基幹科目	57	比較文化研究(長崎とキリシタン文化)/日本語学概論/地域文化(日本)研究序説/比較教育学/地域文化研究(アジア文化論)/比較文化研究方法序説/比較文化研究(長崎と西欧文化)/相談援助の理論と方法Ⅲ/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ/バリア・フリー・デザイン/生活支援技術E/介護の基本Ⅲ/老人ソーシャルワーク論/相談援助の基盤と専門職Ⅰ/相談援助の理論と方法Ⅰ/英語情報データベース/コミュニケーション入門/英米文学入門Ⅰ/日本語の構造Ⅰ/地域文化研究特論/数量と図形の理解/ジェンダー論/自然心理学Ⅰ/比較文化研究(長崎の美術工芸)/障害ソーシャルワーク/地域文化研究特講(長崎と近代化)/英語学特講/社会的養護/社会心理学/マーケティング論Ⅰ/保育原理/音楽基礎理論Ⅰ/教育の基礎理論/家政学概論/家政学概論/児童教育法/保育者論/社会福祉/心理学入門Ⅰ/人間心理学Ⅰ/生涯発達心理学Ⅱ/生活援助技術B/専攻演習Ⅱ/プログラミング演習Ⅰ/子どもの音楽Ⅱ/基礎音楽/発達と学習の心理学Ⅱ/子どもと人間関係/発達と学習の心理学Ⅱ/子どもと環境Ⅰ/子どもと人間関係/発達と学習の心理学Ⅱ/器楽(金-Ⅱ)/器楽(火-Ⅱ)/音楽表現法/基礎造形/造形表現法
資格・免許に関する科目	20	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ/福祉人権論/情報メディアの活用/精神保健の課題と支援/教育指導の研究Ⅱ/図書館制度・経営論/図書館概論/国際関係論/理科教育法/教育原理/カウンセリング論Ⅰ/文献検索法/社会科教育法/子どもの造形Ⅱ/障害児保育/障害児保育/障害児保育/小学校教育実習指導/保育内容総論/保育実習指導Ⅰ

### ②質問項目別に見る平均

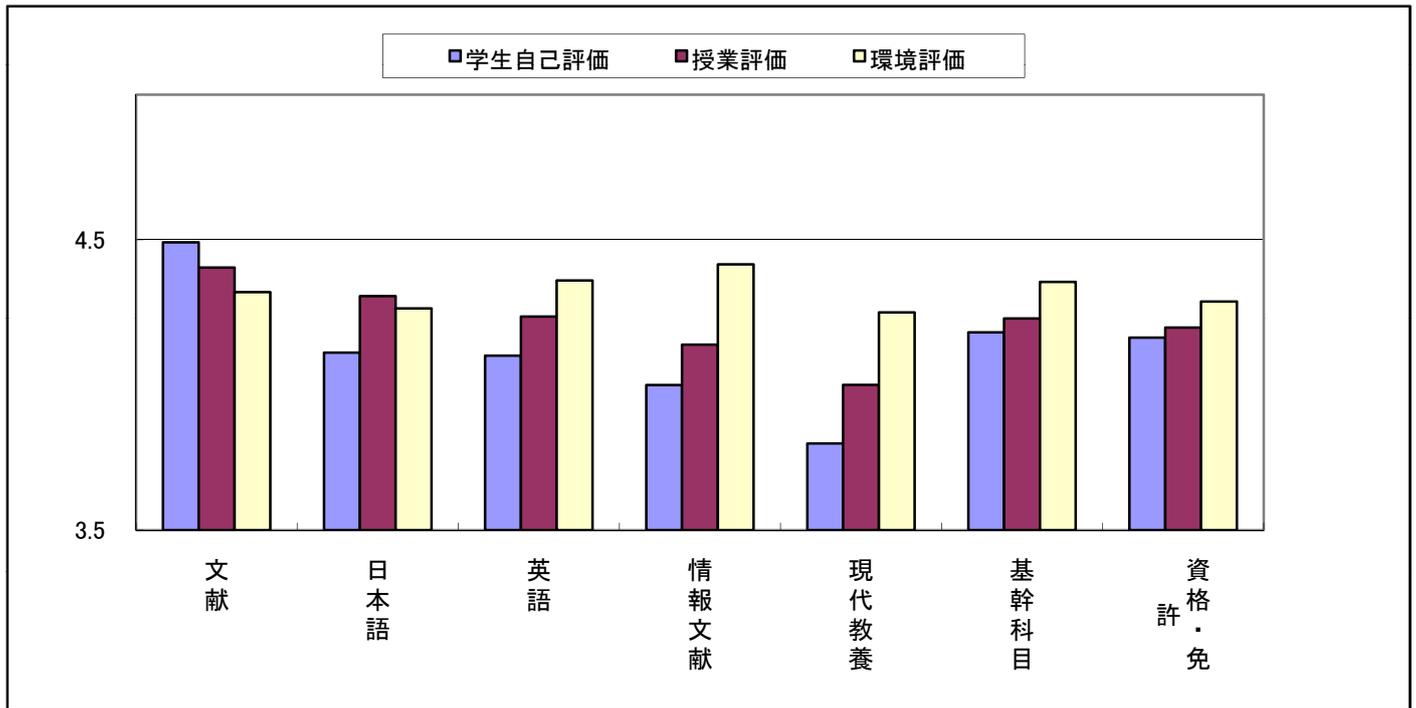
【表2-2】

設問内容※		基礎科目					基幹科目	資格免許
		文献	日本語	英語	情報文献	現代教養		
<b>学生自己評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.49</b>	<b>4.11</b>	<b>4.10</b>	<b>4.00</b>	<b>3.80</b>	<b>4.18</b>	<b>4.16</b>
1.適切な態度		4.64	4.25	4.25	4.04	4.00	4.30	4.31
2.意欲的な取り組み		4.34	3.97	3.95	3.96	3.59	4.06	4.02
<b>授業への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.40</b>	<b>4.31</b>	<b>4.24</b>	<b>4.14</b>	<b>4.00</b>	<b>4.23</b>	<b>4.20</b>
3.シラバスの授業への反映		4.49	4.46	4.16	4.08	4.01	4.27	4.22
4.成績評価基準の明示		4.49	4.50	4.10	4.30	4.10	4.24	4.21
5.授業時間を守る		4.53	4.63	4.36	4.46	4.27	4.33	4.39
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.61	4.49	4.41	4.02	4.23	4.24	4.28
7.教材が理解に役立った		4.47	4.40	4.32	3.91	3.97	4.27	4.22
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.95	4.14	4.11	3.98	3.70	4.00	3.94
9.進め方と内容の適切さ		4.25	4.32	4.23	4.12	3.94	4.17	4.09
10.課題の内容は学習に役立った		4.31	4.49	4.16	4.15	3.76	4.18	4.14
11.教員の熱意が感じられた		4.48	4.34	4.39	4.35	4.24	4.37	4.41
12.適切な学習環境の保持		4.47	4.24	4.17	4.06	3.84	4.20	4.12
13.学生の努力の公正な評価		4.41	4.29	4.33	4.26	4.02	4.24	4.19
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.56	4.30	4.44	4.42	4.21	4.29	4.25
15.問題意識・関心が深まり		4.34	3.86	4.04	3.98	3.91	4.24	4.22
16.後輩や友人に勧めたい		4.31	3.84	4.09	3.84	3.81	4.18	4.08
<b>環境への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.32</b>	<b>4.26</b>	<b>4.36</b>	<b>4.42</b>	<b>4.25</b>	<b>4.36</b>	<b>4.29</b>
17.教室の広さの適切さ		4.56	4.44	4.41	4.45	4.26	4.38	4.29
18.机・椅子の配置の適切さ		4.51	4.45	4.41	4.45	4.24	4.36	4.29
19.教室外からの騒音は気にならなかった		3.89	3.90	4.26	4.35	4.25	4.33	4.28

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



\*「文献」は学生の自己評価が特に高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

- \* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」「実技系授業」で分類し、平均値を出したものです。
- \* 授業形態は担当教員の届出によります。

①実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	74	日本語表現法 I / 日本語表現法 I / 日本語表現法 I / English Seminar I / English Seminar III / English Communication I / English Communication I / English Communication I / Business Communication Skills / English Reading I / 情報処理リテラシー / 情報処理リテラシー / スポーツ文化論 / 心と身体の健康学 / 社会学 I / 福祉文化論 / 法学 / 女性学入門 / 心理学 I / 数学の基礎 / 人文地理学 / 経済学 / 比較文化研究 (長崎とキリシタン文化) / 日本語学概論 / 地域文化 (日本) 研究序説 / 比較教育学 / 地域文化研究 (アジア文化論) / 比較文化研究方法序説 / 比較文化研究 (長崎と西欧文化) / 相談援助の理論と方法 III / 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I / バリア・フリー・デザイン / 生活支援技術 E / 介護の基本 III / 老人ソーシャルワーク論 / 相談援助の基盤と専門職 I / 相談援助の理論と方法 I / 英語情報データベース / コミュニケーション入門 / 英米文学入門 I / 日本語の構造 I / 地域文化研究特論 / 数量と図形の理解 / ジェンダー論 / 自然心理学 I / 比較文化研究 (長崎の美術工芸) / 障害ソーシャルワーク / 地域文化研究特講 (長崎と近代化) / 英語学特講 / 社会的養護 / 社会心理学 / マーケティング論 I / 保育原理 / 音楽基礎理論 I / 教育の基礎理論 / 家政学概論 / 家政学概論 / 児童教育法 / 保育者論 / 社会福祉 / 心理学入門 I / 人間心理学 I / 生涯発達心理学 II / 高齢者に対する支援と介護保険制度 I / 福祉人権論 / 情報メディアの活用 / 精神保健の課題と支援 / 教育指導の研究 II / 図書館制度・経営論 / 図書館概論 / 国際関係論 / 理科教育法 / 教育原理 / カウンセリング論 I / 文献検索法
演習系	32	文献講読基礎 / 文献講読演習 II a / 文献購読演習 II b / 文献講読演習 II b / English Reading I / Public speaking I / Academic Writing I / Grammar / 情報処理リテラシー / 生活援助技術 B / 専攻演習 II / プログラミング演習 I / 子どもの音楽 II / 基礎音楽 / 発達と学習の心理学 II / 子どもと人間関係 / 発達と学習の心理学 II / 子どもと環境 I / 子どもと人間関係 / 発達と学習の心理学 II / 器楽 (金-II) / 器楽 (火-II) / 社会科教育法 / 子どもの造形 II / 障害児保育 / 障害児保育 / 障害児保育 / 小学校教育実習指導 / 保育内容総論 / 保育実習指導 I / 専攻演習 II / ソフトウェアセミナー
実技系	7	English Communication I / 生涯スポーツ I / 生涯スポーツ II / 生涯スポーツ I / 音楽表現法 / 基礎造形 / 造形表現法

②質問項目別に見る平均

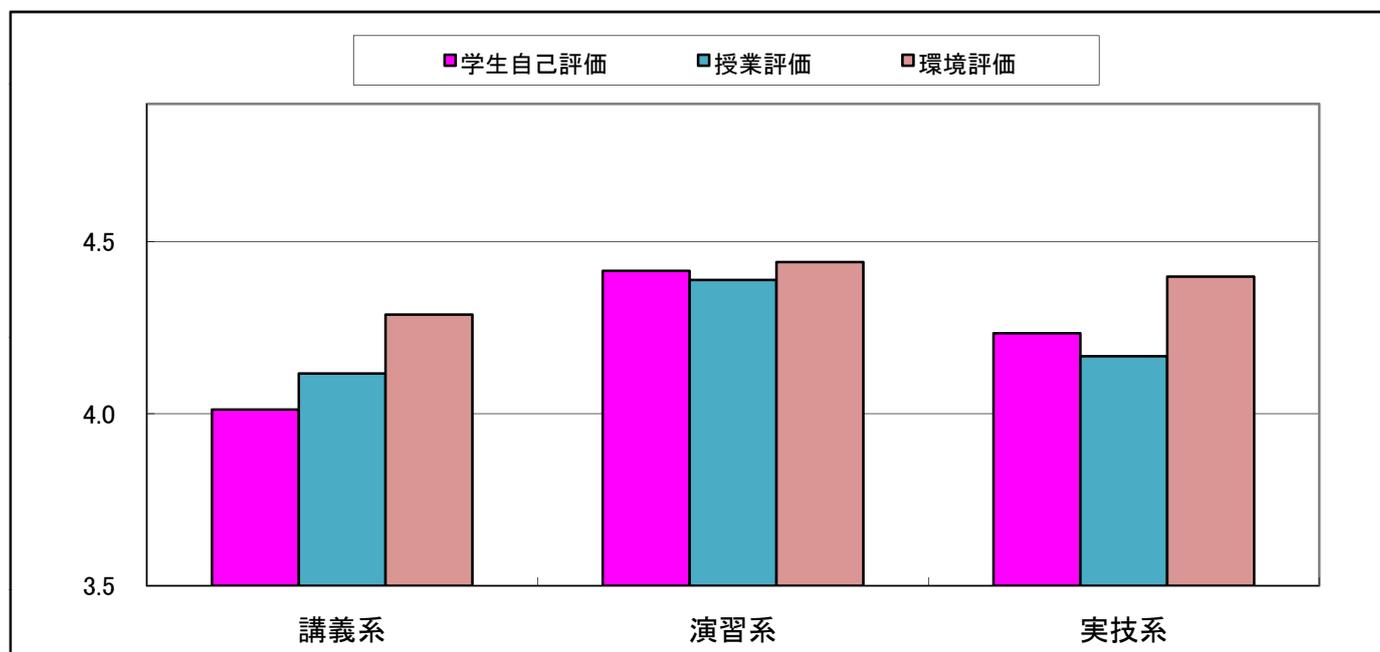
【表3-2】

設問内容※		講義系	演習系	実技系
<b>学生自己評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.01</b>	<b>4.42</b>	<b>4.23</b>
1.適切な態度		4.16	4.50	4.32
2.意欲的な取り組み		3.86	4.33	4.15
<b>授業への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.12</b>	<b>4.39</b>	<b>4.17</b>
3.シラバスの授業への反映		4.16	4.41	4.26
4.成績評価基準の明示		4.17	4.33	4.06
5.授業時間を守る		4.34	4.37	4.21
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.19	4.45	4.25
7.教材が理解に役立った		4.12	4.46	4.06
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.86	4.19	3.85
9.進め方と内容の適切さ		4.06	4.31	4.20
10.課題の内容は学習に役立った		4.03	4.40	4.08
11.教員の熱意が感じられた		4.28	4.55	4.35
12.適切な学習環境の保持		4.04	4.37	4.18
13.学生の努力の公正な評価		4.13	4.36	4.25
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.21	4.44	4.35
15.問題意識・関心が深まり		4.06	4.42	4.09
16.後輩や友人に勧めたい		3.97	4.38	4.14
<b>環境への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.29</b>	<b>4.44</b>	<b>4.40</b>
17.教室の広さの適切さ		4.29	4.52	4.41
18.机・椅子の配置の適切さ		4.29	4.46	4.34
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.28	4.34	4.45

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】



\*「演習系」は全ての評価領域において高い評価となっています。

## 4 受講者数別での結果

### ①実施科目

【表4-1】

受講者数	実施数	実施科目
20名以下	24	文献講読基礎/文献講読演習Ⅱa/文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅱb/English Seminar I /English SeminarⅢ/English Communication I /Academic Writing I /パリア・フリー・デザイン /生活支援技術E/介護の基本Ⅲ/英米文学入門Ⅰ/自然心理学Ⅰ/障害ソーシャルワーク/地域文化研究特講(長崎と近代化)/社会的養護/保育者論/生活援助技術B/専攻演習Ⅱ/基礎音楽/情報メディアの活用/小学校教育実習指導/保育実習指導Ⅰ/専攻演習Ⅱ
21名以上50名以下	55	日本語表現法Ⅰ/日本語表現法Ⅰ/English Communication I /Business Communication Skills/English Reading I /English Reading I /Public speaking I /Grammar/English Communication I /情報処理リテラシー/情報処理リテラシー/生涯スポーツⅠ/生涯スポーツⅡ/生涯スポーツⅠ/福祉文化論/比較文化研究(長崎とキリシタン文化)/日本語学概論/地域文化(日本)研究序説/比較教育学/地域文化研究(アジア文化論)/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ/老人ソーシャルワーク論/相談援助の理論と方法Ⅰ/英語情報データベース/コミュニケーション入門/日本語の構造Ⅰ/地域文化研究特論/数量と図形の理解/ジェンダー論/比較文化研究(長崎の美術工芸)/英語学特講/家政学概論/家政学概論/プログラミング演習Ⅰ/発達と学習の心理学Ⅱ/子どもと人間関係/発達と学習の心理学Ⅱ/子どもと人間関係/発達と学習の心理学Ⅱ/器楽(金-Ⅱ)/器楽(火-Ⅱ)/音楽表現法/基礎造形/造形表現法/福祉人権論/精神保健の課題と支援/教育指導の研究Ⅱ/図書館制度・経営論/図書館概論/理科教育法/教育原理/社会科教育法/障害児保育/障害児保育/障害児保育
51名以上100名以下	20	日本語表現法Ⅰ/情報処理リテラシー/スポーツ文化論/社会学Ⅰ/法学/心理学Ⅰ/数学の基礎/人文地理学/比較文化研究方法序説/比較文化研究(長崎と西欧文化)/相談援助の理論と方法Ⅲ/相談援助の基盤と専門職Ⅰ/マーケティング論Ⅰ/心理学入門Ⅰ/人間心理学Ⅰ/生涯発達心理学Ⅱ/高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ/国際関係論/カウンセリング論Ⅰ/文献検索法
101名以上	14	心と身体の健康学/女性学入門/経済学/子どもの音楽Ⅱ/社会心理学/保育原理/音楽基礎理論Ⅰ/教育の基礎理論/児童教育法/社会福祉/子どもと環境Ⅰ/子どもの造形Ⅱ/保育内容総論/ソフォモアセミナー

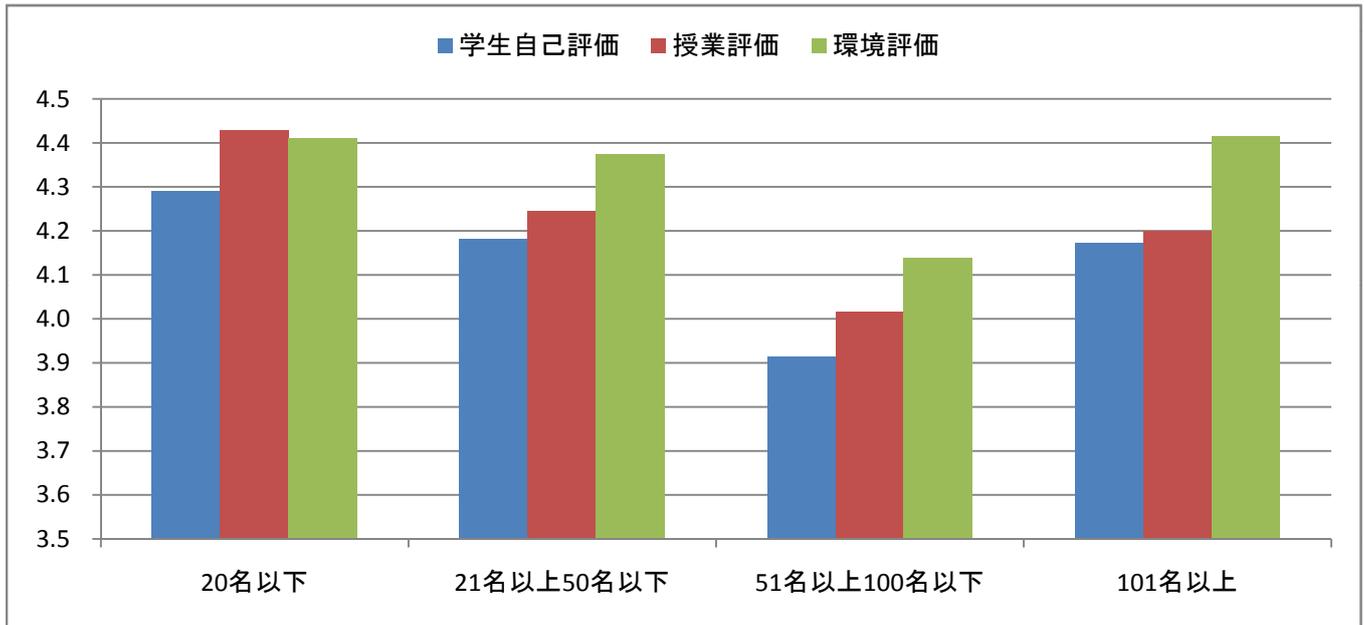
### ②質問項目別に見る平均

【表4-2】

設問内容※		20名以下	21名以上50名以下	51名以上100名以下	101名以上
<b>学生自己評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.29</b>	<b>4.18</b>	<b>3.91</b>	<b>4.17</b>
1.適切な態度		4.36	4.31	4.09	4.29
2.意欲的な取り組み		4.22	4.06	3.74	4.06
<b>授業への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.43</b>	<b>4.25</b>	<b>4.02</b>	<b>4.20</b>
3.シラバスの授業への反映		4.42	4.27	4.03	4.29
4.成績評価基準の明示		4.45	4.24	4.09	4.19
5.授業時間を守る		4.56	4.36	4.26	4.34
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.57	4.35	4.18	4.15
7.教材が理解に役立った		4.43	4.30	3.98	4.23
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.20	4.00	3.71	4.01
9.進め方と内容の適切さ		4.36	4.19	3.94	4.14
10.課題の内容は学習に役立った		4.34	4.19	3.90	4.17
11.教員の熱意が感じられた		4.55	4.42	4.20	4.35
12.適切な学習環境の保持		4.41	4.19	3.95	4.14
13.学生の努力の公正な評価		4.41	4.27	4.05	4.17
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.53	4.34	4.15	4.25
15.問題意識・関心が深まり		4.39	4.18	3.97	4.21
16.後輩や友人に勧めたい		4.37	4.13	3.84	4.16
<b>環境への評価</b>	<b>平均</b>	<b>4.41</b>	<b>4.38</b>	<b>4.14</b>	<b>4.42</b>
17.教室の広さの適切さ		4.51	4.42	4.13	4.43
18.机・椅子の配置の適切さ		4.48	4.41	4.17	4.36
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.25	4.30	4.12	4.46

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

### ③受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ



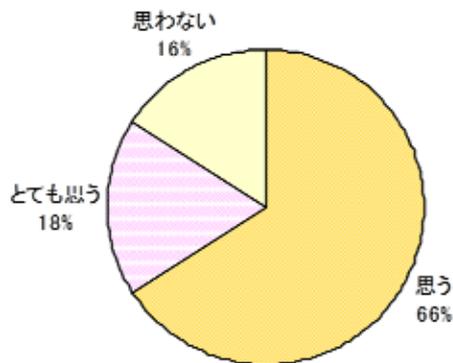
## 5 先生のアナケートから

\* 学生の皆さんにご協力いただいた授業アンケート結果を受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。

回答者数 専任教員 24名(回収率44%) 非常勤講師 20名(回収率49%)

### アンケート結果

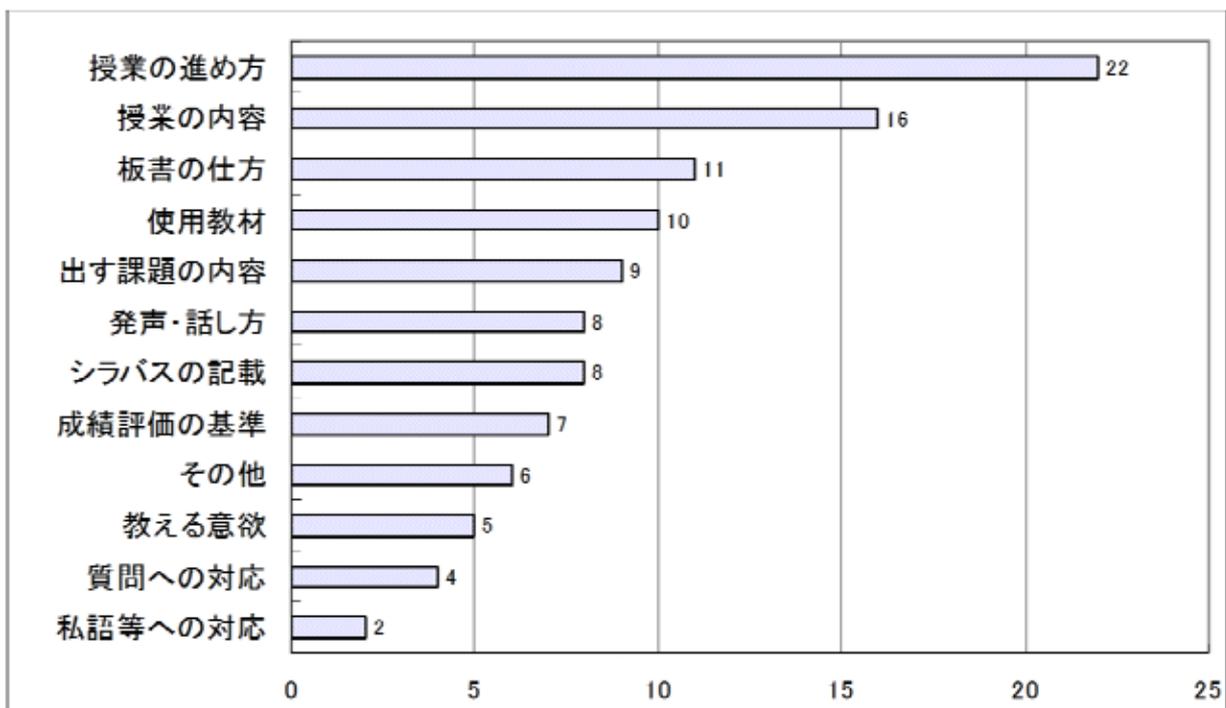
問1 授業アンケートが今後の授業改善につながると思うか？



	専任教員	非常勤講師
とても思う	3	5
思う	17	11
思わない	3	2
全く思わない	0	0

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点を改善しようと思うか？(複数回答可)



その他の改善点として「授業のペース」「扱う題材の量」という意見がありました。

問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

問3 授業アンケートが改善につながらないと思う理由は？(複数回答可)

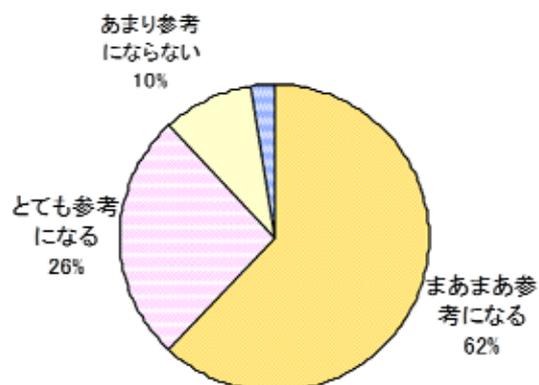
自分の努力ではどうにもならない事情がある

真剣に取り組んでいない。

評価能力がない。

質問項目がわかりにくい

問4 自由記述アンケートは授業改善の参考になるか？



	専任教員	非常勤講師
とても参考になる	3	5
まあまあ参考になる	18	11
あまり参考にならない	3	4
全く参考にならない	0	0

無回答 1名

ほとんどの先生が『参考になる』と回答しています。特にどのような点が参考になるのかというと…。  
「具体的な指摘がなされているので、参考になる。単なる点数評価の学生アンケートよりも授業改善に役立つと思います。」「人数が多いので、学生がどのように理解しているか把握できる」「学生の文書力も見える」などの意見がありました。

『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「想定内の回答のため」「どのような点を改善して欲しいか、まったく記入されていないから。」などの理由があげられていました。